

科目名称	異文化コミュニケーション論					ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	()
英文科目名称	International Communication					グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	(○)
科目コード	531760	授業形態	講義	単位数	2	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
教員氏名	呉 海鍾		年次配当	2年次	前期				
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		アクティブラーニング			<input checked="" type="radio"/> 有・無			
授業概要 及び授業方法	<p>近年、グローバル化の進展により海外が非常に身近になり、海外に旅行に行く機会や外国の方と接する機会が増え、異文化に接する機会が多くなっている。また、別の視点で見ると、異文化とは、ただ日本と海外との関係のみでなく、自己と他者、自分の生まれ育った地域とその他の地域等の様に国内との関係においても存在している。</p> <p>上記を踏まえ本授業では、映像資料やスライドなどを用いて授業を行うことで、異文化コミュニケーションの基礎概念や、異文化理解に関する基礎的な知識を身につけることを目的としている。また、異文化コミュニケーションに関する知識を身につけるためには、多角的な視点による思考力や発想力や誰とでも良好なラポールが構築できるようなコミュニケーション能力を養うことも必要である。その為、授業を通して、それらの能力も養っていく。</p>								
関連する科目	社会学概論、社会学、統計学					卒業認定(学習成果)との関連		①, ④	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：授業の進め方、目的、到達目標、評価方法等の説明 2. スライドで見る世界の諸相：ユーラシア大陸の各国の写真をもとに様々な国について学ぶ 3. 異文化コミュニケーションの基礎概念①：文化とは何かについて考える 4. 異文化コミュニケーションの基礎概念②：異文化とは何かについて考える 5. 異文化コミュニケーションの基礎概念③：日本の常識から文化や異文化について考える 6. 異文化コミュニケーションの基礎概念④：様々な文化的側面から文化・異文化について考える 7. 異文化コミュニケーションの基礎概念⑤：コミュニケーションから異文化について考える 8. 異文化コミュニケーションの基礎概念⑥：「イゾラド」をもとに異文化について考える 9. 異文化コミュニケーションと宗教：「砂漠のピンクタクシー」をもとに宗教と異文化について考える 10. カルチャーショックと適応のプロセス：カルチャーショックの概念と適応のプロセスについて考える 11. 違いに気づく：行動、視点などによる文化の違いから異文化について考える 12. 異文化の認識：固定概念、ステレオタイプ、カテゴリー化から異文化について考える 13. 差別と異文化理解：「エリオット先生の差別体験授業青い目・茶色い目」をみて差別について考える 14. 世界の価値観と異文化理解：様々な国の常識から異文化理解について考える 15. グループワーク：ジョハリの窓をもとに本当の自分を知る 								
授業時間外の学習	毎週授業のテーマに関連する事項について書籍、論文又はインターネット等を利用して調べる等必ず予習をしてから授業に臨むこと。また、復習は必ず毎週1時間程度行い、次の授業の時にきちんと前回の内容が理解できているようにしておくこと。								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ①異文化コミュニケーションの基礎概念や、異文化理解に関する基礎的な知識を身につける。 ②異文化コミュニケーションに必要な思考力、発想力及びコミュニケーション能力を養う。 								
課題に対するフィードバック	課題などのフィードバックに関しては、授業毎に適宜行う。					評価方法・基準		①授業への参加度、小テスト・ミニレポート、グループワーク等(50%)、②期末課題レポートと発表(50%)で算出する。	
テキスト	本授業は、テキストを使用せず、適宜関係資料の配布、スライド、ビデオなどを使用しながら進めていく。								
参考書	適宜授業で紹介する。								
備考	①期末レポート(課題発表)が未定出で評価が「不可」となった学生の再試験の受験は認めないこととする。								